

# 主要事業個別シート(第2次実施計画/H27・28年度)

ver.1.01

① 基本事項	計画コード	事業名	部名	健康福祉部
	19100	高齢者・障がい者(児)タクシー料金助成事業	室名	高齢障がい支援室
	基本施策の大綱	04:生きがいを持てる福祉の展開	財	会計
	基本施策	04:高齢者の多様な生活スタイルの支援	務	款
	施策の方向	03:高齢者の生きがいづくり活動の支援	科	項
戦略プロジェクト	-	目	目	02:障がい者福祉費
事業予定期間	H 19 ~ H 28 年度 主な根拠法令要綱等 亀山市タクシー料金助成事業実施要綱			

② 目的・概要	対象	身体障害者手帳1・2級、療育手帳A、精神障害者保健福祉手帳1・2級、の所持者
	目的	重度障がい者(児)が、タクシーを利用する場合に、その料金の一部を助成することにより、外出の支援と社会参加の促進を図る。
概要	身体障害者手帳1・2級所持者、療育手帳A所持者、精神障害者保健福祉手帳1・2級所持者の希望者にタクシー券を交付する。	

		平成27年度	平成28年度	
③ 年度別事業計画	・タクシー料金助成事業内容		・タクシー料金助成事業内容	
	対象者 助成額		対象者 助成額	
	①満75歳以上の高齢者 10,000円		①満75歳以上の高齢者 10,000円	
	②身体障害者手帳1・2級所持者 療育手帳A所持者 精神障害者保健福祉手帳1・2級所持者 15,000円		②身体障害者手帳1・2級所持者 療育手帳A所持者 精神障害者保健福祉手帳1・2級所持者 15,000円	
	ただし、 ②の方でじん臓機能障害を有する者 45,000円		ただし、 ②の方でじん臓機能障害を有する者 45,000円	
	計画額	事業費	31,000千円	31,000千円
		国庫支出金		
		県支出金		
		地方債		
		その他		
予算額	一般財源	31,000千円	31,000千円	
	事業費	26,780千円	29,880千円	
	国庫支出金	0千円	0千円	
	県支出金	0千円	0千円	
	地方債	0千円	0千円	
その他	0千円	0千円		
一般財源	26,780千円	29,880千円		
期間内総事業費(H27・H28)①		62,000千円	期間外事業費(H29以降)②	
			0千円	
総事業費 (①+②)		62,000千円		

				平成27年度	平成28年度	(参考・平成29年度)	
④ 指標	①	名称	交付率	活動	計画値	70	70
		補足	交付者数/対象者数		単位	%	%
	②	名称	利用率	活動	計画値	60	60
		補足	決算額/交付額		単位	%	%
③	名称			計画値			
	補足			単位			
④	名称			計画値			
	補足			単位			

事務事業評価シート

H27(主要事業)

①基本事項	計画コード	事業名	部名	健康福祉部
	19100	高齢者・障がい者(児)タクシー料金助成事業	室名	高齢障がい支援室
	基本施策の大綱	04:生きがいを持てる福祉の展開	財	会計 01:一般会計
	基本施策	04:高齢者の多様な生活スタイルの支援	務	款 03:民生費
	施策の方向	03:高齢者の生きがいづくり活動の支援	科	項 01:社会福祉費
戦略プロジェクト	-	目	目 02:障がい者福祉費	

②目的・概要	対象	身体障害者手帳1・2級、療育手帳A、精神障害者保健福祉手帳1・2級、の所持者
	目的	重度障がい者(児)が、タクシーを利用する場合に、その料金の一部を助成することにより、外出の支援と社会参加の促進を図る。
概要		身体障害者手帳1・2級所持者、療育手帳A所持者、精神障害者保健福祉手帳1・2級所持者の希望者にタクシー券を交付する。

		27年度		28年度	
①	名称	交付率	計画値	70	70
	補足	交付者数/対象者数	実績値	58.37	
			単位	%	%
②	名称	利用率	計画値	60	60
	補足	決算額/交付額	実績値	53.7	
			単位	%	%
③	名称		計画値		
	補足		実績値		
			単位		
④	名称		計画値		
	補足		実績値		
			単位		

年度計画				年度実績				
・タクシー料金助成事業内容 対象者 助成額 ①満75歳以上の高齢者 10,000円 ②身体障害者手帳1・2級所持者 療育手帳A所持者 精神障害者保健福祉手帳1・2級所持者 15,000円 ただし、 ②の方でじん臓機能障害を有する者 45,000円				◆タクシー料金助成事業内容 対象者 助成額 交付者数 ①満75歳以上の高齢者 10,000円 3,798人 ②身体障害者手帳1・2級所持者、療育手帳A所持者、精神障害者 保健福祉手帳1・2級所持者 15,000円 310人 ただし、②の方でじん臓機能障害を有する者 45,000円 46人 ◆タクシー料金助成費 24,002,650円 チケット印刷代 363,895円				
④事業の計画・実績	事業費	事業費	計画額	31,000	予算額	26,780	決算額	24,367
		国庫支出金		0	0	0		
		県支出金		0	0	0		
		地方債		0	0	0		
		その他		0	0	0		
		一般財源	31,000	26,780	24,367			
		再	翌年度への繰越額		0		0	
		掲	前年度からの繰越額		0		0	
		総人件費			①	1,599		
		総コスト			⑥	25,966		
総人件費 ① 1,599 一般職員人件費 ② 1,599 平均給与額×③ 所要人員 ③ 0.21 臨時職員人件費 ④ 0 受益者負担額 ⑤ 0 受益者負担率 0.0% ⑤ / ⑥								

【事業の成果】 前年度比として、交付率は高齢者で0.3%減、障がい者で2.8%減、全体では1.2%減となり、交付者における利用率は全体で2.4%減、決算額も3.3%減となった。	総合判定 <b>B</b> まずまず進んだ
---	-----------------------------

⑤事業の評価	【反省点・課題】 事業継続においては、じん臓機能障害を有する者等重度障がい者への助成の必要性は明確であるものの、満75歳以上の高齢者への定額助成については、高齢化が益々進むこと(市費支出の自然増等)への対応、収入や生活状況、居住地等の違いによる不公平感の払拭など様々な課題があり、見直しが必要である。
--------	---

⑤事業の評価	【改善の方向性】 高齢者の置かれている生活状況は多様化し格差も生じていることから、それぞれ必要な生活支援サービスも多様である。これに対し、在宅医療や民間の移動販売サービスなど地域での生活を支援するサービス提供も行われつつあり、サービスにも選択の余地が出てきていることから、「外出支援」に限らず、家族の支援が受けられない高齢者などがそれぞれに必要な生活支援サービスを支援するという観点から見直しを行っていくのが良いのではないかと考える。
事業目的の妥当性: 適切   有効性: 見直しの余地あり   最終評価確認者: 長寿健康づくり室長 駒谷 みどり	